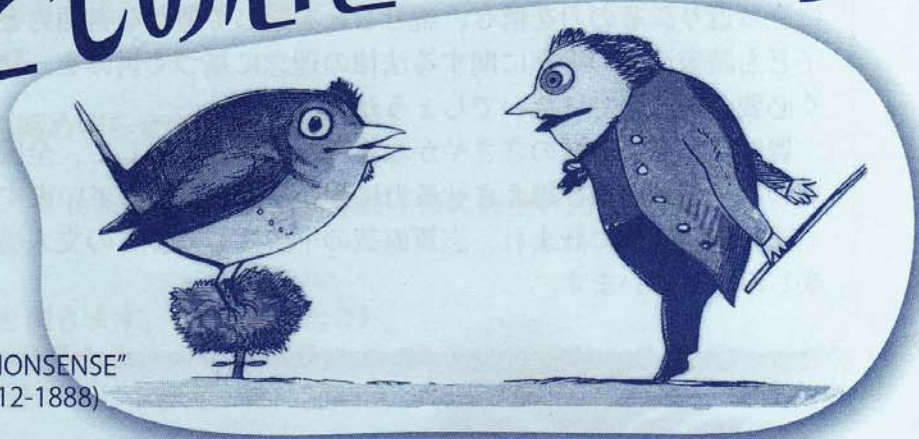


第42回 全国子どもの本と児童文化講座  
豊岡・城崎大会

# 本・ことは 子どもの心をつなぐもの

2010  
国民読書年

Source: "A BOOK OF NONSENSE"  
by Edward Lear (1812-1888)



日程 2010年 8月 18日 (水) ~ 19日 (木)

会場 だいかいぎかん 城崎大会議館・西村屋ホテル招月庭

宿泊 西村屋ホテル招月庭

会場へのアクセス: 山陰本線 城崎温泉下車 徒歩10分  
新大阪駅、伊丹空港から会場への往復シャトルバス(有料)を運行

## 記念講演

### 物語が育てる人間的知性

脇 明子氏 ノートルダム清心女子大学教授

香川県出身。東京大学教養学部教養学科卒業。東京大学大学院人文科学研究科博士課程 比較文学比較文化専門課程満期退学。1984年よりノートルダム清心女子大学に勤務、1987年よりノートルダム清心女子大学教授、2001年よりノートルダム清心女子大学図書館長を兼務。2003年より岡山県子ども読書活動推進会議会長、1998年より岡山子どもの本の会代表。専門は児童文学(特にファンタジー)研究、子どもの読書の問題や、子どもの発達とメディアの問題についての研究、絵本の歴史の研究。著書は『読む力は生きる力』(岩波書店)、『物語が生きる力を育てる』(岩波書店)ほか多数。

地元参加者の参加費は別紙申込書のとおりです

## 参加費

一般	2日: 5000円	1日: 3000円
会員・学生	2日: 4000円	1日: 2500円

## 主催

日本子どもの本研究会 東京都練馬区豊玉北 4-4-18-105 Tel& 03-3994-3961  
Fax 03-3992-0362

## 後援

兵庫県教育委員会 / 豊岡市 / 豊岡市教育委員会 / 朝来市教育委員会 / 養父市教育委員会 / 香美町教育委員会 / 新温泉町教育委員会 / 京丹後市教育委員会 / 全国学校図書館協議会 / (社) 日本図書館協会 / 兵庫県図書館協会 / 親子読書地域文庫全国連絡会 / 日本親子読書センター / (社) 読書推進運動協議会 / (社) 日本児童文学者協会 / (社) 日本児童文芸家協会 / 児童図書館研究会 / 日本文学教育連盟 / 図書館問題研究会 / 親子映画東京連絡会 / (財) 子どもの文化研究所

# お待ちしております！ コウノトリの郷 豊岡・城崎大会

豊岡世話人会

2010年「国民読書年」に豊岡市城崎温泉で、第42回全国子どもの本と児童文化講座を開催できますことは大変意義深く、全国の各地の皆様と、また素敵な本と出会えることを心からうれしく思います。

読書離れ、活字離れ、映像メディア・電子メディアの影響が危惧されるなか、今こそ「本・ことば」の原点に立ち返り、その力を信じ、読むことを通じて豊かな言語力と生きる力を育む必要があると考えます。そして子ども読書活動の推進に関する法律の理念に基づく営みを一緒になって考え行動し、子どもの心をつないでいく必要があるのではないのでしょうか。

豊岡市と周辺地域のささやかな実践を問題提起として、全国の皆様とともに意見交換し、新しい共感が目の前のハードルを飛び越えさせる力に変わるよう期待しています。

遙か昔より歌に詠まれ、志賀直哉の小説ははじめ多くの文人墨客に愛されたまち城崎で、お会いできることを楽しみにしています。

## プログラム

10:00 12:00 13:30 14:00 14:30 16:30 17:00 17:30 19:00 20:30 21:30

18日

講座		受付	開会式	記念講演 脇明子氏 城崎大会議館ホール	報告 豊岡からの	ガイダンス	夕食	夜のつどい	交流会
----	--	----	-----	---------------------------	-------------	-------	----	-------	-----

子どもプログラム①

8:30 9:00 12:30

19日

受付	分科会	閉会式
----	-----	-----

子どもプログラム②

## 子どもプログラム

- ① 18日 14:00～17:00  
温泉寺・大師山フィールドワーク
- ② 19日 9:00～12:30  
麦藁細工製作体験とおはなし会

## 豊岡からの報告 18日16:30～17:00

### 根っこづくり・幹づくり

豊岡世話人会 代表 堂垣一博

「教室が静まり返り、わくわくしながら目を輝かせ、おはなしの登場を待ちます。」市内の小学校では、このような風景がよく見られます。ブックスタート事業をはじめ9年目。豊岡市では、早くから乳幼児期の「根っこづくり」に力をいれることが幹を育てることにつながるという方針のもと、家庭・行政・市民が一体となって子育てに夢と希望がもてるまちづくりを進めてきました。

コウノトリ子育て支援メッセージ、推薦図書を選定、小・中学校読書ボランティアの設置など、豊岡市の読書活動の推進について報告します。

「見えないところがほんものにならないと、見えるところもほんものにならない。」(東井義雄 著書『培其根』より)。先人の地元教育者の言葉に思いを寄せて…。

## 講座 18日 10:00 ~ 12:00

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 1 読みきかせ—<br>このすばらしきもの    | 1 読みきかせとは、2 なぜ読みきかせをするの、3 読みきかせの方法、4 読みきかせたい本。読みきかせは、子どもと本を会わせるための最も身近で大切な読書活動で、最近の読書ボランティアの活動も読みきかせが中心になっています。よりよい読みきかせができるよう、皆さんと読みきかせについて考えていきましょう。(山田節子)  |
| 2 ブックトーク                 | ブックトークとは、子どもに手渡したい本を数冊集め、読みたくなるように紹介していく、本を手渡す手法のひとつ。本の選び方、組み合わせ方、テーマの付け方、その本に合った紹介の仕方などを、はじめの方でも挑戦しやすいミニ・ブックトークを中心に紹介します。小学校で行った実際のプログラムも見ていただき、参加者の意見交流を図りたいと思います。(代田知子)  |
| 3 子どもと<br>子どもの本を<br>めぐって | 子ども達は、子ども時代の体験と、絵本で得た間接体験との行き来が繰り返される中で、絵本を読む時の喜びが相乗効果として増幅されていきます。一方で、今の子ども達について、『与えられるものの過剰、掴み取るものの過少』と言われて久しく、子ども達の原体験の場所や機会がどんどん奪われてきました。生きる喜びや、生きる力を、子どもの本をはじめとする識字文化が、そこをどう補完出来るのか、エッツの「わたしとあそんで」や、豊岡市・港地区公民館発行の独創的な「港かるた」等を取り上げ、話し合います。(植垣正毅・津田櫓冬) |

## 夜のつどい 18日 19:00 ~ 20:30 実技・実演なども含め、楽しみ、交流しましょう!

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 1 読みきかせの<br>部屋     | 子どもの成長に本と“読みきかせ”が大きい力をもっていることが脳の成長の分野からも認識されています。“読みきかせ”は各地でますます盛んになっている昨今です。子どもに1冊の本を手渡す手段としての“読みきかせ”を参加の皆様と楽しみたいと思います。『ゆきおこし』などこの地域の絵本も使います。(加瀬堯子)                   |
| 2 語りの部屋            | 語り、おはなし、ストーリーテリング。語り手から紡ぎ出されることばからいろいろなものが聞き手の心の中に入ってきます。よく語られたお話は、活字がなくてもその物語、おはなしの世界を堪能する事ができます。そんな語りの世界を体験し合いましょう。皆で楽しいおはなしを共有し‘子どもと本’の関りをさらに深めていけたらよいと思います。(塚原真理子) |
| 3 科学あそびの<br>部屋     | 紙で作る手品。手品ってなかなか難しいもの、自分ではできないもの、と思っていませんか。紙を使って、ちょっとした工夫でみんなで楽しめるものが作れます。演じ方はちょっと練習を要するものもありますが、子どもでも簡単に演じられます。作って演じ方もマスターして周りの人を騙してみたいはいかがでしょうか?(瀬間幸子)                |
| 4 紙芝居の部屋           | 紙芝居は共感の世界、ほんものの紙芝居を演じながら、紙芝居の楽しさを味わいたい。(井出村由江・長田道子・池上和枝)   |
| 5 平和について<br>語ろう    | 平和な世界があつてこそ、子どもの本を語れます。子どもたちが幸せであるために、私たちは何ができるのか、みなさんと語りあいませんか。(増田栄子)   |
| 6 城崎文学散歩と<br>外湯めぐり | 歴史と文学といで湯のまち城崎を現地の方に案内していただきます。コース 鴻の湯(外湯・城崎温泉発祥の地)→温泉寺(開基738年)→三木屋(志賀直哉ゆかり)前で『城崎にて』の朗読→ゆとうや前で与謝野晶子の歌に触れます。文学の香り豊かな散策となるでしょう。外湯入浴はこの後の時間でどうぞ。23時まで。(坂田文一郎・横内弥生)        |

1 乳幼児と読書	愛情豊かな人とのかかわりの中でこそ育まれる乳幼児期、絵本も大きな役割を果たします。本当に子どもの心や言葉を豊かにするための絵本選び、出会わせ方など、家庭・子育て広場・文庫・図書館・保育園・幼稚園などそれぞれの場から、実践を持ち寄り話し合しましょう。話題にしたい本を持ってこられる方はお願いします。 (三木みな子)
2 小学生(低・中学年)と読書	子ども読書年から10年。読書離れに歯止めをかけることができたのであろうか?待合室や薬局で手持ち無沙汰気の本を捜している子ども達を見かける。チャンス到来! タイムリーにも今年は、国民読書年。図書館や地域ボランティアによる読み聞かせ等、学校ぐるみの読書推進の方策を実践発表とともに皆さんで探っていきましょう。 (三浦せい子)
3 小学生(高学年)と読書	自分を見つめ、世界を広げる高学年の子どもたちの読書。幅広い読書を楽しめるこの時期、たくさん本を手渡していきたいものです。本を読む喜びを知る子どもたちを育てていく取り組みや、司書教諭・司書の活躍によって広がる読書活動など、実践発表をもとに、皆さんで深め合っていきましょう。 (若林真砂子)
4 中学生以上と読書	最近の中高生が「好んで読んでいる本」と「大人がすすめたい本」との違いに大人は戸惑っていませんか?一方、中高生も「おススメの良い本」を求めているように思います。中高生にすすめたい本、おススメの本の手渡し方、そして大人として伝えたい思いとは…。報告をヒントに、「みなさんで語り合い、みなさんで考えてみる。」そんな時間をもてたらと思っています。 (増田栄子)
5 特別支援と読書	今年の分科会は、昨年の内容をさらに深めたく、①特別支援児(者)と本とのかかわり。②障がいに関することを書いた子どもの本を読んで、この2面を中心に取り組みたいと思います。様々な場面(家庭、保育園、幼稚園、学童、学校、図書館、作業所など)での実践を出し合って学び合いたいものです。皆様の参加をお待ちしています。 (千田てるみ)
6 絵本	子どものための絵本選びの観点や作品を活かす読み方、手渡し方を課題本を共有し学びあいましょう。作品のよさや楽しさを実感し、読みきかせすることで聞き手と心通わせる絵本の魅力を味わえる会にしましょう。現地からの報告、最新の絵本情報も準備しています。課題本は『ともだちのしるしだよ』『サンドイッチサンドイッチ』『ハンバーグハンバーグ』です。 (鈴木佳代子)
7 児童文学	いま、手渡したい本2010年。国民読書年です、流れに乗りやすいわが国民性。この機を逃さず大きな波を起こして一層の読書習慣定着を計ろうではありませんか。子どもたちに生きる力を与える本の魅力について語らしましょう。開催地ゆかりの森はな氏の作品普及活動の取り組みから地域に密着した作品の持つ力も考えていきます。 (米田久美江)
8 科学・ノンフィクション	『コウノトリがおしえてくれた』(池田啓著)『おかえりコウノトリ』(佐竹節夫著)を参考に、児童作成絵本「プラポン」・コウノトリをテーマにした教育実践の報告を交えながら、豊岡地域の自然環境について話し合います。ここ1年間に発行された注目すべき科学の本の紹介科学の本を活用した実践についても報告の予定です。 (小澤恭子)
9 学校図書館の活用	学校図書館は学校生活を円滑に動かすためのインフラです。学校図書館が教育課程の展開に関してどのように連携し、活動しているのか、それぞれの地域の活動を発表しあいましょう。お互いに持ち寄り、分かちあえる会としたいと考えます。 (高桑弥須子)
10 公共図書館とボランティア	今年は国民読書年です。しかし、予算削減などにより公共図書館は質量の面で機能の低下が危惧されています。真の読書振興を図るために、今、公共図書館は何をなすべきでしょうか。図書館運動にかかわる人々、利用者の視点から公共図書館を見直し、その振興策を語り合い、豊かな文化を子どもたちに継承するための公共図書館の働きを確認し、私たちの運動をさらに充実していきましょう。 (村上敏明)